天恩寺の歴史

1362年から現在まで続く歴史あるお寺が天恩寺です。岡崎市のふるさと百景の1つにも選ばれています。

仏殿には仏様がまつられています。仏像は30体ぐらいいます。本堂ではお経を唱えます。

屋根は30年に1回取り変えをします。本堂や仏殿は杉、ヒノキ、松で作られています。

池の事を放生池といって、仏様にあげた物を鯉に与えているそうです。

建物の配置図

本堂

宝永7年に作られた

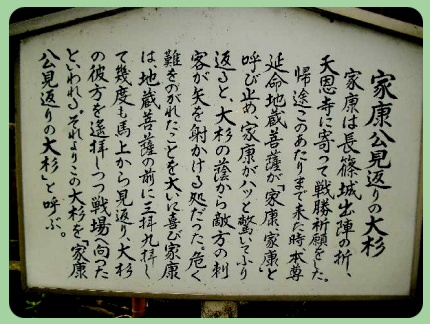
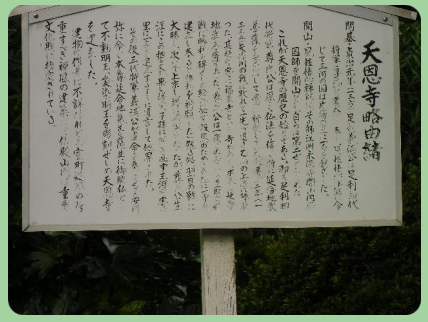
仏殿

庫裡

山門

山門

見返りの大杉

上の写真の木は、樹齢1000年もある杉の木です。この木は、徳川家康のことで有名です。

徳川家康は長篠城へ向かう途中この寺に立ち寄りました。そのとき「家康、家康」と呼ばれて振り返ったらそこには敵がいて、奇跡的に攻撃をさけることができました。そして、家康は無事助かりました。このことから「家康公見返りの大杉」と言われるようになりました。